

第105回常設審議委員会

農業会議は12月19日、第105回常設審議委員会を大阪市内・JABANK大阪信連事務センターで開いた。

第1号議案の農地法第4条及び第5条の規定に基づく意見聴取に回答する件(摂津市、能勢町、箕面市、和泉市、泉南市、阪南市、堺市、富田林市、松原市(駐車場案件を除く)、羽曳野市、大阪狭山市、八尾市、枚方市農業委員会会長)29件(3万3031平方メートル)を許可やむ

を得ないと認め回答し、並びに松原市の駐車場案件(8926平方メートル)については市道により一団の農地(10畝超)が分断され第2種農地である説明であったが、保留し、現地調査をすることを議決した。

この案件に関して委員から分断要因に関する判断について質問があった。これについて大阪府からは、分断要因の市道については、交通量の調査資料がなく交通量のみで判断するのではなく、客観的な立場から、実際に、農業機械が容易に横断し又

は迂回することができ、一体として利用することができるのか否かの判断が必要であるとの説明があった。

全国農業図書紹介

○新たな食料・農業・農村基本法と関連3法のポイント

昨年5月29日に成立した食料・農業・農村基本法改正法の理念と具体的な施策の概要をはじめ、6月14日に成立した関連3法(食料供給困難事態対策法、

【第1号議案】

件数	面積(平方メートル)
第4条 5	2435
第5条 26	3万9522

合計	31	4万1957
(農地区別件数は、3種農地19件、2種農地10件、1種農地1件、農用地区域内農地1件)		

農地関連改正法、スマート農業技術活用促進法)をポイントごとに分かりやすく解説(A4判・16頁、220円、図書コードR06-19)。
○あなたも地域農業のために活動してみませんか！
表面には活動内容、裏面には募集に際してよくある質問をQ&A形式で掲載したリーフレット。

ト。農業委員会組織ではかねてより熱意と行動力のある人材の掘り起こしと登用促進を進めています。令和8年の統一改選に向けて、早期からの働きかけを実施しませんか。農業委員・推進委員の募集に最適なりーフレットです(A4判・2頁、33円、図書コードR06-32)。

天気のおっちゃんのコラム

気象予報士、元普及指導員 森田 彰朗

第十回

「大阪の大雪」

ブドウの大敵は大雪

大阪市内の積雪は二〇一五年以降観測されていませんが、河内のブドウ産地では、過去何度か大きな雪害に襲われています。大阪が雪に見舞われるのはどんな時か、考察します。

南岸低気圧が大雪の元凶

天気図を見てください。これは二〇一四年二月一四日の天気図です。この図でLは低気圧、Hは高気圧です。四国の南の低気圧が潮岬付近から房総半島沖に進み、この日は関西の平坦部のほか、関東や山梨県でも大雪となりました。

四国沖から太平洋の沿岸を発達しながら進む低気圧のことを



南岸低気圧といい、一月から三月に大阪に大雪をもたらす最大の原

因です。昭和五九年、平成二年に、いずれもブドウ地帯でハウスの倒壊をもたらした大雪も、このパターンです。

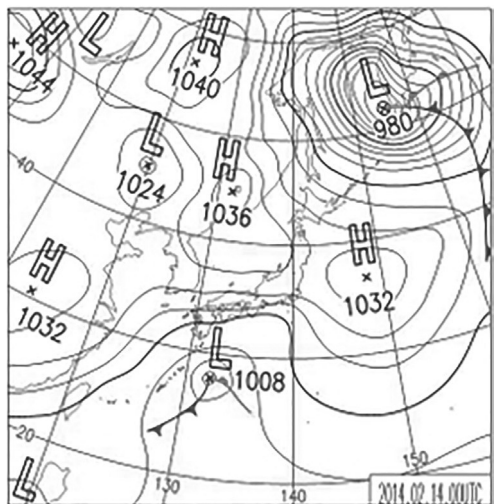
低気圧の雲が寒気で雪に

南岸を進む低気圧は、雨雲を伴っており、通常は雨になるのですが、進むタイミングに合わせて寒気が入ると、湿った雪となります。低気圧の進路や寒気の強さなどによって、雨か雪か

象だといわれます。冬のこの時期、ハウスのブドウ農家の皆さまは、天気予報で「南岸低気圧」「大雪の恐れ」という言葉が出たら、すぐ対策にかかれるよう準備をお願いします。

北摂では強い冬型で雪になる

北摂では南岸低気圧のほかに、強い冬型に伴うJPCZ(注)の発生が大雪になること



地上天気図(平成26年2月14日09時)

(注) JPCZ 日本海寒帯気団収束帯のこと。冬の線状降水帯とも呼ばれ、局地的に大雪をもたらす。